

2024年2月22日
MMDLabo株式会社

2024年1月ポイ活と新NISAに関する意識調査

**ポイント投資や運用をしているユーザーが多いのは楽天ポイント
投資と運用どちらも実施しているユーザーが多いのはVポイント**

新NISAの認知は56.1%、内容理解は31.8%

新NISA検討者の口座開設検討サービスは「楽天証券」が最多、次いで「SBI証券」

https://mmdlabo.jp/investigation/detail_2307.html

MMDLabo株式会社（東京都港区、代表取締役：吉本浩司）が運営するMMD研究所は、予備調査では18歳～69歳の男女25,000人、本調査では6サービス経済圏のポイントユーザー2,500人※を対象に2024年1月19日～1月22日の期間で「2024年1月ポイ活と新NISAに関する意識調査」を実施いたしました。調査結果は以下のとおりです。

※dポイントユーザー（n=500）、Pontaポイントユーザー（n=500）、PayPayポイントユーザー（n=500）、楽天ポイントユーザー（n=500）、WAON POINTユーザー（n=250）、Vポイントユーザー（n=250）

※本リリースでは、アンケート調査により回収されたサンプルを人口構成比に合わせるために、ウェイトバック集計しています。

【調査結果サマリー】

- ポイントを貯めている／使っている場所・サービスは
dポイント、Pontaポイントが「コンビニ」、PayPayポイント、楽天ポイントが「ECサイト」、WAON POINTが「スーパー」、Vポイントは貯めているのは「コンビニ」、使っているのは「ドラッグストア」
- ポイント投資や運用を行っている人は、楽天ポイントユーザーが最多、次いでVポイントユーザー
ポイント投資や運用両方実施はVポイントユーザーが最多、次いで楽天ポイントユーザー
- 新NISAの認知は56.1%、内容理解は31.8%
認知者のうち新NISAを利用した投資を既に開始している人は27.9%、検討者は39.8%
- 新NISAを利用した投資で利用検討している口座は「楽天証券」が最多、次いで「SBI証券」

■ ポイントを貯めている／使っている場所・サービスは

dポイント、Pontaポイントが「コンビニ」、PayPayポイント、楽天ポイントが「ECサイト」、WAON POINTが「スーパー」、Vポイントは貯めているのは「コンビニ」、使っているのは「ドラッグストア」

6サービス経済圏のポイントユーザー2,500人を対象に、メインで活用しているポイントを貯めている／使っている場所・サービスについて聞いたところ（複数回答可）、dポイントユーザー（n=500）、Pontaポイントユーザー（n=500）はどちらも「コンビニエンスストア」、PayPayポイントユーザー（n=500）、楽天ポイントユーザー（n=500）はどちらも「ECサイト、アプリ」、WAON POINTユーザー（n=250）はどちらも「スーパーマーケット」が最多となり、Vポイントユーザー（n=250）は貯めている場所・サービスは「コンビニエンスストア」、使っている場所・サービスは「ドラッグストア」がそれぞれ最多となった。

● メインで活用しているポイントを貯めている／使っている場所・サービス（複数）※メインで活用しているポイント別、上位5位抜粋

dポイントユーザー（n=500）		
貯めている		
1位	コンビニエンスストア	67.2%
2位	通信料金	62.0%
3位	ドラッグストア	61.0%
4位	飲食店	46.0%
5位	スーパーマーケット	45.4%
使っている		
1位	コンビニエンスストア	49.2%
2位	ドラッグストア	32.6%
3位	ECサイト、アプリ	22.4%
	スーパーマーケット	
	飲食店	

Pontaポイントユーザー（n=500）		
貯めている		
1位	コンビニエンスストア	70.4%
2位	通信料金	53.4%
3位	ECサイト、アプリ	48.4%
4位	ドラッグストア	45.0%
5位	スーパーマーケット	41.2%
使っている		
1位	コンビニエンスストア	43.2%
2位	ECサイト、アプリ	30.2%
3位	ドラッグストア	19.8%
4位	スーパーマーケット	18.2%
5位	飲食店	14.0%

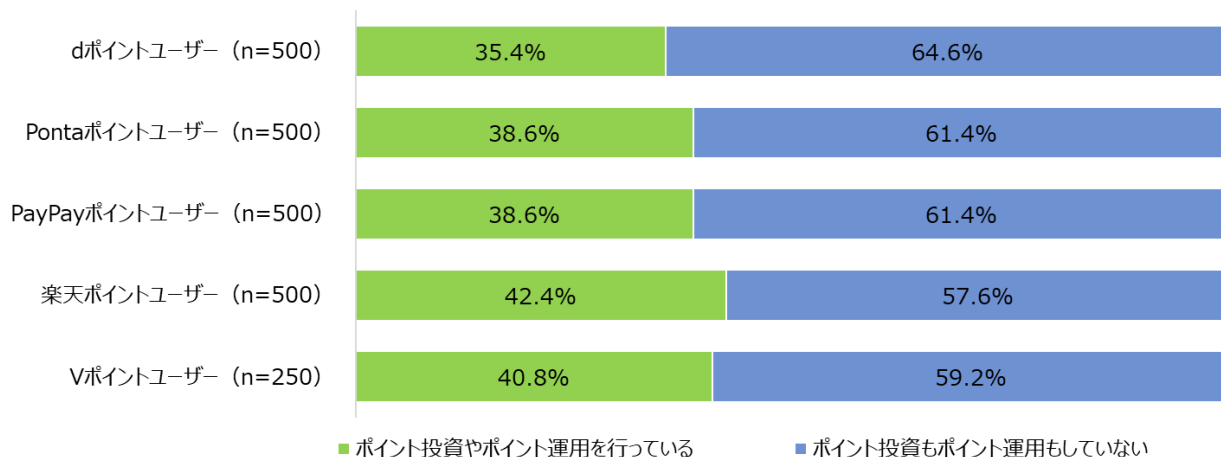
PayPayポイントユーザー（n=500）		
貯めている		
1位	ECサイト、アプリ	67.2%
2位	コンビニエンスストア	58.2%
3位	ドラッグストア	53.4%
4位	スーパーマーケット	51.4%
5位	飲食店	45.8%
使っている		
1位	ECサイト、アプリ	51.8%
2位	コンビニエンスストア	43.0%
3位	スーパーマーケット	34.4%
4位	ドラッグストア	34.2%
5位	飲食店	28.4%

楽天ポイントユーザー（n=500）		
貯めている		
1位	ECサイト、アプリ	76.6%
2位	ドラッグストア	46.0%
3位	コンビニエンスストア	42.5%
4位	スーパーマーケット	38.6%
5位	飲食店	35.0%
使っている		
1位	ECサイト、アプリ	60.2%
2位	ドラッグストア	24.0%
3位	コンビニエンスストア	23.8%
4位	スーパーマーケット	18.4%
5位	飲食店	16.8%
WAON POINTユーザー（n=250）		
貯めている		
1位	スーパーマーケット	92.4%
2位	ドラッグストア	38.8%
3位	コンビニエンスストア	34.8%
4位	飲食店	29.6%
5位	ECサイト、アプリ	19.6%
使っている		
1位	スーパーマーケット	81.2%
2位	ドラッグストア	21.6%
3位	コンビニエンスストア	19.2%
4位	飲食店	11.2%
5位	ECサイト、アプリ	8.4%
Vポイントユーザー（n=250）		
貯めている		
1位	コンビニエンスストア	59.6%
2位	ドラッグストア	56.0%
3位	ECサイト、アプリ	46.8%
4位	飲食店	42.8%
5位	スーパーマーケット	41.2%
使っている		
1位	ドラッグストア	29.6%
2位	コンビニエンスストア	20.4%
3位	ECサイト、アプリ	15.2%
4位	スーパーマーケット	10.4%
5位	飲食店	8.8%

■ ポイント投資や運用行っている人は、楽天ポイントユーザーが最多、次いでVポイントユーザー ポイント投資や運用両方実施はVポイントユーザーが最多、次いで楽天ポイントユーザー

5サービス経済圏のポイントユーザー2,250人を対象に、ポイント投資やポイント運用の実施について聞いたところ、「ポイント投資やポイント運用を行っている」と回答したのは楽天ポイントユーザー（n=500）が42.4%と最も多く、次いでVポイントユーザー（n=250）が40.8%、Pontaポイントユーザー（n=500）とPayPayポイントユーザー（n=500）が38.6%となった。

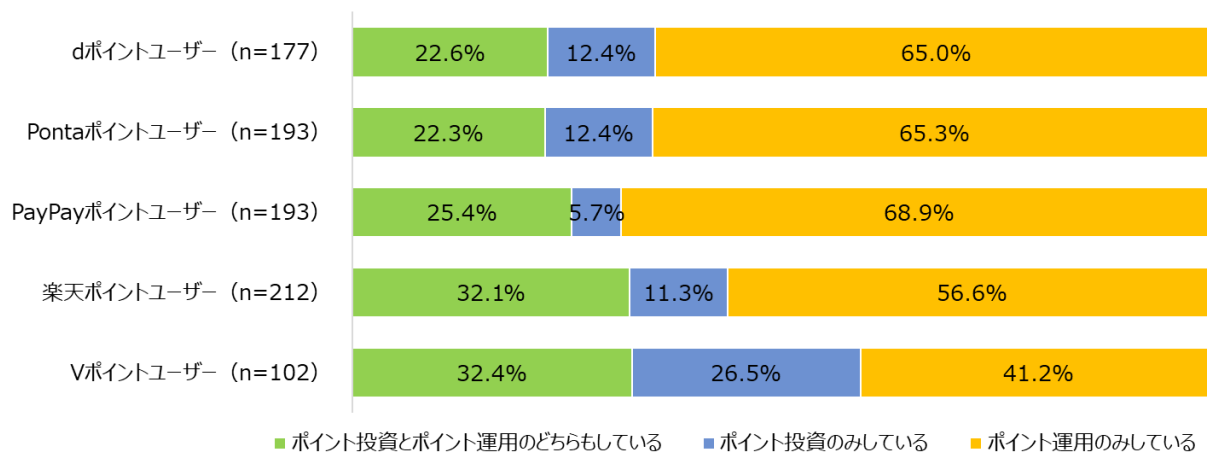
● ポイント投資やポイント運用の実施（単数）※メインで活用しているポイント別



MMD研究所調べ

次に、ポイント投資やポイント運用を行っている877人を対象に、ポイントの活用方法を聞いたところ、「ポイント投資とポイント運用のどちらもしている」と回答したのはVポイントユーザー（n=102）が32.4%と最も多く、次いで楽天ポイントユーザー（n=212）が32.1%、PayPayポイントユーザー（n=193）が25.4%となった。

● ポイント投資やポイント運用を行っている人のポイントの活用方法（単数）※メインで活用しているポイント別



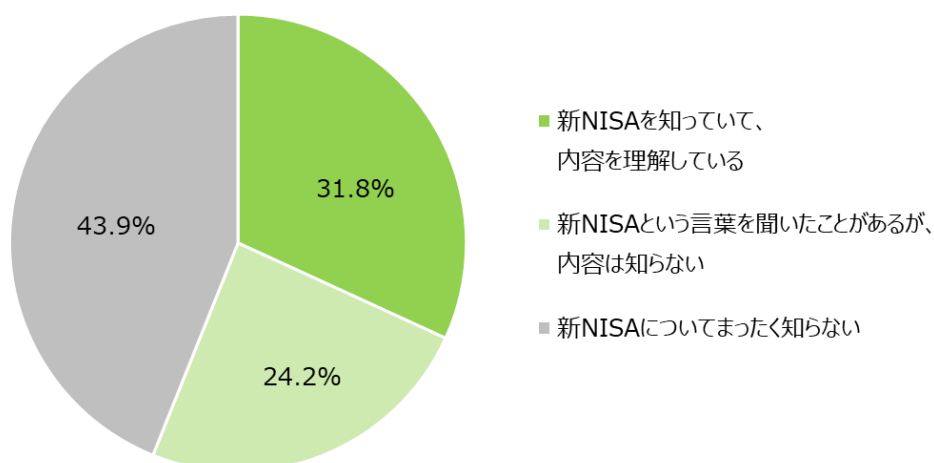
MMD研究所調べ

■ 新NISAの認知は56.1%、内容理解は31.8%

認知者のうち新NISAを利用した投資を既に開始している人は27.9%、検討者は39.8%

18歳～69歳の男女25,000人を対象に、新NISAの認知について聞いたところ、「新NISAを知っていて、内容を理解している」が31.8%、「新NISAという言葉聞いたことがあるが、内容は知らない」が24.2%と合わせた認知は56.1%となった。

● 新NISAの認知（n=25,000、単数）

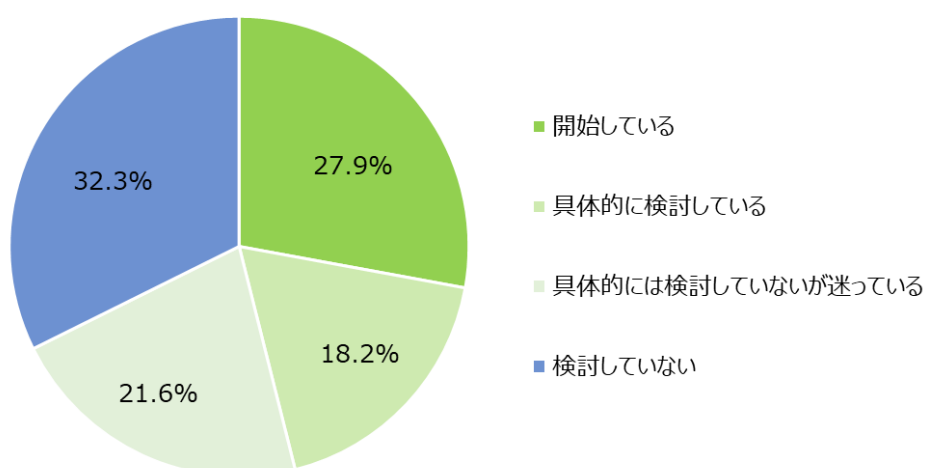


MMD研究所調べ

次に、新NISAについて認知している14,020人を対象に、投資の開始～検討状況について聞いたところ、「開始している」のは27.9%となった。

「具体的に検討している」と「具体的には検討していないが迷っている」を合わせた検討者は39.8%となった。

● 新NISA認知者の投資の開始～検討状況（n=14,020、単数）

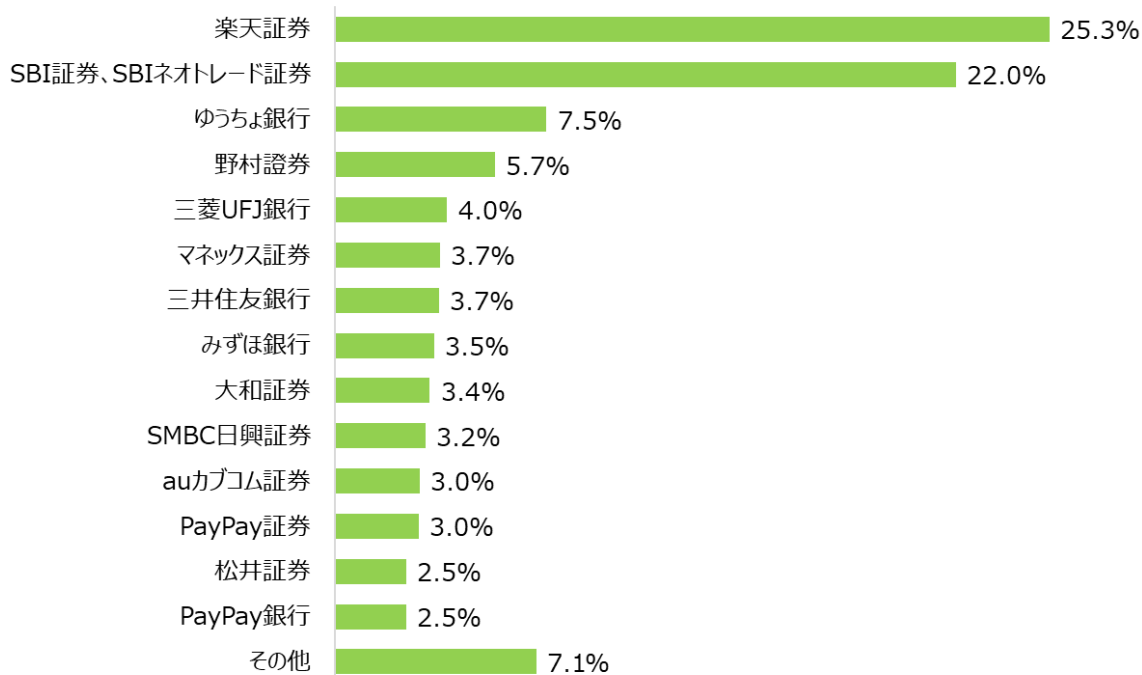


MMD研究所調べ

■ 新NISAを利用した投資で利用検討している口座は「楽天証券」が最多、次いで「SBI証券」

新NISAを利用した投資の開始を具体的に検討していると回答した2,551人を対象に、新NISAの口座として検討しているサービスについて聞いたところ（複数回答可）、「楽天証券」が25.3%と最も多く、次いで「SBI証券」が22.0%、「ゆうちょ銀行」が7.5%となった。

● 新NISA利用検討者が新NISAの口座として検討しているサービス（n=2,551、複数）



MMD研究所調べ

※本調査対象者の「Vポイントユーザー」は、「Vポイント」をメイン利用している人と「Tポイント」をメイン利用している人が混在しています。

※本調査レポートは小数点以下任意の桁を四捨五入して表記しているため、積み上げ計算すると誤差がでる場合があります。

※回答者の属性は会員登録後に無料レポートよりご確認ください。

【調査概要】

「2024年1月ポイ活と新NISAに関する意識調査」

調査期間：2024年1月19日～1月22日

有効回答：＜予備調査＞ 25,000人 ※人口構成比に合わせてウェイトバックを実施 ＜本調査＞ 2,500人

調査方法：インターネット調査

調査対象：＜予備調査＞ 18歳～69歳の男女 ＜本調査＞ 6サービス経済圏のポイントユーザー

※dポイントユーザー（n=500）、Pontaポイントユーザー（n=500）、PayPayポイントユーザー（n=500）、楽天ポイントユーザー（n=500）、WAON POINTユーザー（n=250）、Vポイントユーザー（n=250）

設問数：＜予備調査＞ 13問 ＜本調査＞ 10問

【今回調査した全設問】

<予備調査>

SC1 あなたが現在メインで利用しているスマートフォンの通信会社を教えてください。

SC2 あなたが普段お買い物をする時、どのような方法で支払っていますか？ここ1ヶ月間で利用した支払い方法をすべて教えてください。

SC3 あなたが現在利用しているクレジットカードをすべて教えてください。

SC4 あなたが現在利用している非接触の電子マネー、クレジットカードブランドのタッチ決済（タッチして支払いをするもの）について、カードをかざして利用しているもの、スマートフォンをかざして利用しているもの、それぞれすべて教えてください。

SC5 あなたが現在利用しているQR・バーコード決済をすべて教えてください。

SC6 あなたが現在、口座を持ち利用している銀行、金融機関をすべて教えてください。

SC7 あなたが現在、口座を持ち利用している証券会社をすべて教えてください。

SC8 あなたが現在活用しているポイントをすべて選び、その中で最も活用しているポイントをひとつ教えてください。

SC9 あなたが現在利用している総合ECサイトをすべて教えてください。

SC10 「経済圏」とは、docomo、au、SoftBank、楽天など1つの会社が運営している様々なサービス群（ECサイト、通信会社、決済サービス、金融サービス、エンタメ系サービスなど）を指します。これらの経済圏では、共通するポイント、アカウントを利用することで利便性が高く、よりお得にサービスを利用することができます。あなたは、以下の経済圏を意識してサービスを利用、選択することがありますか？

SC11 あなたが意識していると回答した経済圏のうち、最も意識している経済圏をひとつ教えてください。

SC12 NISA制度においては抜本的拡充・恒久化を目的として見直しを図られ、2024年1月から新しいNISAが導入されます。新NISAでは、非課税保有期間の無期限化、口座開設期間の恒久化（無期限化）、つみたて投資枠と、成長投資枠の併用が可能、年間投資枠の拡大などがポイントとしてあげられます。新NISAについて、あなたに当てはまるものをひとつ教えてください。

SC13 新NISAを利用した投資の開始を決めている方・検討している方にお伺いします。あなたが新NISAの口座として最も検討しているサービスをひとつ教えてください。

<本調査>

Q1 あなたが「SC11回答選択肢表示」を意識し始めるきっかけとなったサービスをひとつ教えてください。

Q2 あなたが「SC11回答選択肢表示」で現在利用しているサービスをすべて教えてください。

Q3 あなたは、「SC11回答選択肢表示」を家族や友人にお薦めしたいと思いますか？10点（とてもお薦めしたい）⇔0点（全くお薦めしたくない）で回答してください。

Q4 あなたが「SC11回答選択肢表示」のお薦め度に対して、「Q3回答選択肢表示」を付けた理由を教えてください。

Q5 あなたは今後、「SC11回答選択肢表示」の中で利用するサービス数を増やしていきたいと思いますか？今の気持ちに最も近いものをひとつ教えてください。

Q6 「SC11回答選択肢表示」の以下の項目について、あなたの満足度を教えてください。

Q7 「SC11回答選択肢表示」の総合満足度を教えてください。

Q8 あなたがメインで活用している「SC8回答選択肢表示」を貯めている場所・サービスと、使っている場所・サービスをそれぞれすべて教えてください。

Q9 あなたは「SC8回答選択肢表示」を使って投資や運用をしていますか？あなたに当てはまるものを教えてください。

NEWS RELEASE 報道関係者各位

Q10 「SC11回答選択肢表示」以外の経済圏について、あなたの行動や意識をそれぞれひとつ教えてください。

【本件に関するお問い合わせ】



配信元：MMD研究所 <https://mmdlabo.jp/>

担当者：石黒

連絡先：03-6451-4414／info@mmdlabo.jp